

私たちは要望をすいあげて、すばやく改善しました!



ケミカルグラウト
小野センパイ

私達の会社では、改善要望がフィードバックできるアプリを作成しています。以前は社内に必要な情報を探して欲しいという要望が多く寄せられていましたが、今では各人がみずから検索できるようになったことで問い合わせ自体も大きく減っています。そして、普段距離の離れた現場にいる社内メンバーにも使ってもらえるよう、なにかあればいつでも相談できる体制を整えたことも現場への浸透に大きく役立っていると思います。



ジール
岡崎センパイ

要望アプリを用意したら、運用改善についての意見がメンバーから上がってくるようになりました。かゆいところに手が届く機能も柔軟に取り込んでいただけのことで、触ってみようというポジティブな気にさせてくれるのがkintone。みんなで作り上げた仕組みだという意識も手伝って、メンバーからいろいろな意見が出てくるようになりました。この意識変化は大きな進歩です。



kintoneの運用改善について意見が書き込めるアプリ

アプリで現場の要望をすいあげ!

キューーン!

kintoneなら部門担当者と相談しながらもすぐに改善してあげることが可能です。その結果、システムに関する相談が以前よりも頻りに寄せられるようになりました。これまで情報システム部に直接相談できなかったことが多かったと思われるが、kintoneのおかげで今ではたくさんの要望をいただいています。気軽に相談してもらえる環境が整備できたのは大きいです。



明電舎
楠田センパイ

請求	ステータス	作成者	記入日	期限	優先	管理
203			2018-12-19			
202			2018-12-03			
201			2018-11-06			
200			2018-11-01			
199			2018-10-18			
198			2018-10-15			

要望アプリに部門からの要望が集まってくる

すばやい対応でkintoneの信頼度もあがる!

重要なのは最初に「動くシステム」としてkintoneアプリをメンバーへ見せてしまうことです。要望を、なるべく面前でシステムに反映しながら改善し続けるプロセスを数回繰り返していくと、現場でもkintoneが使えるようになっていきます。さらにそこから「実は他にも課題があって、なんとなかならないか?」という提案が増えていくんです。



日清食品HD
成田センパイ



ティー・ケー・オー
ひだまりの郷南前川
清水センパイ

kintoneに入力できない人を1人でも取りこぼさないよう工夫しています。いまでは、不満よりも改善の意見が現場から上がってくるようになったことがうれしいです。現場が困っていれば、すぐに改善に向けたアプリを作りますとお伝えできています。現場との信頼関係が醸成できる、これは本当に素晴らしいですし、自分のやりがいにもつながります。

「現場からのクレームは宝の山」とクレームから素早くkintoneでシステム化することで、「一緒に作り上げていく」「言ったことが形になる」という努力を続けてきました。創意工夫を繰り返していき『こんな情報をうまく管理できないか?』という相談や提案も上がるようになり、今では社員たちと共にkintoneを育てているような感じでした。



中島工業
普天間センパイ

目の前で改善し、信頼をえる



京王グループ
蛇川センパイ

時間とコストをかけた100点のシステムを求めるより、75点であってもkintoneで迅速かつ安価に、すぐに動くアプリを提供した方が業務改善効果が高いと考えました。目の前で使えるアプリがあったという間に作られていくのは、現場への導入ハードルが下がり逆に期待値が上がるので、色々な要望が出やすくなります。

発見!

みんなに使ってもらうための秘訣...

現場の要望をkintoneで上手にすいあげることだった!



「せっかくアプリを作ったのに、みんなが使ってくれない……」
なぜでしょうか。

そんなお悩みを解決する秘訣は、要望を上手にすいあげることにありました。

このコーナーでは、みんなの要望を上手にすいあげるコツや、kintoneの浸透・定着に成功したセンパイの事例を見ていきましょう!

困ったときにいつでも見れる! オンデマンドセミナーのご紹介 /

社内に浸透させるヒントは “マニュアル”と“社内説明会”にあり!

社内のメンバーがkintoneを使いやすくなるようなマニュアルを作りたい...

プロ直伝! 現場で重宝される / kintone利用マニュアルの 作り方セミナー



何が学べる?

理想的なマニュアルの作り方を学べる!

「作ったけど読まれない」「書いてあるけど質問される」を避けるために、ユーザーストーリーをもとにしたマニュアルの作成方法を解説します。お伝えするのはkintoneのヘルプサイトの解説原稿を作成しているプロダクトライター。利用者にとってわかりやすいマニュアルをイメージしながら学ぶことができます。

特典

マニュアルの雛形が手に入る!

セミナー後のアンケートにお答えいただいた方に「kintone 利用マニュアル雛形」をプレゼント! 雛形をベースにすぐ始められるので、これからマニュアルを作り始める方はぜひ視聴しましょう!



kintone 利用マニュアルの作り方 <https://pg.cybozu.co.jp/kintone-ondemand-seminar-manual.html>



利用予定のメンバーにkintoneを使うメリットや使い方をどう伝えたらいいかわからない...

浸透を加速! 周囲から共感を得る / 「社内説明会」の開き方 セミナー

何が学べる?

メンバーの共感を得るための5つのポイントを学べる!

導入初期のお客様サポート経験が豊富な講師が厳選した、社内説明会で共感を得るために押さえておきたい5つのポイントを解説します。「管理者 vs ユーザー」にならないために、参加者視点でわかりやすく、kintoneを使いたくなるような内容にするために必要なことを学んでいます。

ポイント

デモンストレーションつきで イメージしやすい!

セミナー中に説明会のデモンストレーションを実施! 実際の説明会の様子をイメージしながら学ぶことができます。

kintone 社内説明会の開き方 <https://pg.cybozu.co.jp/kintone-ondemand-seminar-setsumeikai.html>

すばやい改善で社内浸透がグンと進む! /

みんなの要望をすいあげやすい 「要望受付アプリ」を活用してみよう!

「要望受付アプリ」とは?



「要望受付アプリ」は、チームメンバーからの要望を受け付け、タスク管理するためのアプリです。プロセス管理機能を使って、対応状況を見る化できます。レコードのコメント欄で依頼者とのやりとりも一元管理できます。



「要望受付アプリ」を運用にのせるための3STEP

STEP 01

「要望受付アプリ」を用意したら、利用者にお知らせしましょう! 最初は手厚くフォローすることが大切です!



STEP 02

要望が登録されたら、すばやく対応しましょう!



STEP 03

あっという間にアプリが使いやすくなると、みんながハッピーに! kintoneへの信頼度も爆上がりです!

